

ベースボール型 ソフトボール 第2学年

手順3 例示等を基に、第1学年及び第2学年の内容のまとまりにおける全ての「単元の評価規準」を設定します。

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識	技能		
<ul style="list-style-type: none"> ・球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。 ・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。 ・球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・投球の方向と平行に立ち、肩越しにバットを構えることができる。 ・地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。 ・スピードを落とさずに、タイミングを合わせて塁を駆け抜けることができる。 ・打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。 ・ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。 ・投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げるができる。 ・守備位置から塁上へ移動して、味方からの送球を受けることができる。 ・決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。 ・各ポジションの役割に応じて、ベースカバーやバックアップの基本的な動きをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。

手順4 当該単元における「単元の評価規準」を設定します。

手順2にある「第1学年及び第2学年『球技』における2年間を見通した指導事項の配置」の指導事項に対応した単元の評価規準を設定します。

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識	技能		
<ul style="list-style-type: none"> ①球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。 ②球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。 ②スピードを落とさずに、タイミングを合わせて塁を駆け抜けることができる。 ③ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。 ④決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ②練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ③体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間と楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ②練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ③健康・安全に留意している。

手順5 当該単元における具体的な指導内容の明確化を図ります。

単元の目標の実現には、具体的な指導を充実した上で、「単元の評価規準」により評価を行うことが重要です。そのため、学習指導要領の記載等から、生徒の学習状況を実現するための具体的な指導内容を明確にします。

知識及び技能		思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
知識	技能		
<p>ベースボール型球技は、身体やバットの操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻守を規則的に交代し、一定の回数内で相手チームより多くの得点を競い合うことが楽しい運動であること。</p> <p>↓</p> <p>①球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>ボール操作には、ステップ、キャッチング、スローイングなど技術の名称があること。それらを身に付けるポイントがあること。</p> <p>↓</p> <p>②球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>ボールをよく見て地面と水平にバットを振り抜くこと。</p> <p>↓</p> <p>①地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。</p> <p>スピードを落とさずに、タイミングを合わせて塁を駆け抜けること。</p> <p>↓</p> <p>②スピードを落とさずに、タイミングを合わせて塁を駆け抜けることができる。</p> <p>ボールの正面に回り込んで緩い打球を捕ること。</p> <p>↓</p> <p>③ボールの正面に回り込んで緩い打球を捕ることができる。</p> <p>決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとること。</p> <p>↓</p> <p>④決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。</p>	<p>掲示された練習方法や資料から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選択すること。</p> <p>↓</p> <p>①提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>最善を尽くすことやフェアプレイ等の価値について視点を与え、ゲームの中で仲間のよい態度やプレイをみつけ、理由を添えて他者に伝えること。</p> <p>↓</p> <p>②練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</p> <p>自分や仲間の体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえ、ルールを工夫して楽しむための練習やゲームの方法を見つけ他者に伝えること。</p> <p>↓</p> <p>③体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見つけ、仲間に伝えている。</p>	<p>単元全体を通して、目標の達成に向けて積極的に取り組むこと。</p> <p>↓</p> <p>①球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>練習の際に球出しなどの補助をしたりチームの作戦や戦術などの学習課題の解決に向けて仲間に助言したりすること。</p> <p>↓</p> <p>②練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>体調の変化などに気を配ること、ボールやバット、グローブなどの用具の扱い方や、練習場所などの自己や仲間の安全に留意すること、技能の難易度や自己の体力や技能の程度に合った運動をすることが大切であること。</p> <p>↓</p> <p>③健康・安全に留意している。</p>

手順6 単元の目標、単元の評価規準をもとに単元を構想しましょう。

【単元構想】

単元名	球技 ベースボール型 ソフトボール			
単元の目標	<p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。</p> <p>ウ ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができるようにする。</p> <p>(2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>			
単元の評価規準	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	知識	技能		
<p>①球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>①地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。</p> <p>②スピードを落とさずに、タイミングを合わせて塁を駆け抜けることができる。</p> <p>③ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。</p> <p>④決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。</p>	<p>①提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>②練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</p> <p>③体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見つけ仲間に伝えている。</p>	<p>①球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>②練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>③健康・安全に留意している。</p>	
単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）				
<p>仲間と協力して学習する中で、ソフトボール（球技）に関する理解を深め、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開して楽しさや喜びを味わい、日常生活でも球技をはじめスポーツに多様な関わり方をする生徒。</p>				
単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方			
<p>ボール操作と基本的なバット操作で連携した動きを仲間と高めながらソフトボールを楽しもう。</p>	<p>ソフトボール（球技）の勝敗を競う楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割に着目して、基本的なバット操作や定位置で守ったり攻防を行ったりする。ポイントや仲間の出来栄を見る。補助をしたり、仲間に助言したりして支える。ソフトボールの特性や名称、ポイント等を知る。といった多様な関わり方と関連付けること</p>			

指導計画と評価計画は、手順5で考えた指導内容の明確化との整合性も図りましょう。

指導計画と評価計画											
	時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
学 習 の 流 れ	0	オリエンテーション	健康観察・本時のめあての確認・準備運動								
	10		スキルアップトレーニング	スキルアップトレーニング キャッチボール・ゴロ捕球・スイング							
	20	基本的なバット操作		ボール操作 ボールの正面に回り込んで緩い打球を捕る <small>技術の名称・ポイント</small>	走塁練習	課題の確認と解決の練習 ボール操作とバット操作	前時の修正チーム練習 課題に応じた練習の選択				
	30	ソフトボールの特性		基本的なバット操作	ボール操作	走塁練習	課題の確認と解決の練習	前時の修正チーム練習	リーグ戦		
	40		簡易ゲーム① 基本的なバット操作のゲーム <small>安全面</small>							簡易ゲーム② ボール操作と基本的なバット操作のゲーム	簡易ゲーム③ ルールの工夫を行い、基本的なバット操作とボール操作、走塁のあるゲーム <small>違いを踏まえた方法の発見と伝達 よい取組の発見と伝達</small>
50	スキルチェック	整理運動・学習のまとめ、振り返り・次時の確認									単元のまとめ
評 価 機 会		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	知	①		(②)	②						
	技		(①)	①	(③)	③	②		④		総括的な評価
	思							③	②	①	
	態		③					②		①	
【評価方法】知識（学習カード） 技能（観察） 思考・判断・表現（学習カード・観察） 主体的に学習に取り組む態度（観察・学習カード）											

具体的な指導内容	
1	<p>関連して高まる体力とその体力向上の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ベースボール型では、巧緻性、敏捷性、瞬発力、筋力などがベースボール型に求められる動きに関連して高まる体力である。 ○体力向上の手だてとして、スキルウォーミングアップで行うゴロ捕球での敏捷性、バットスイングでは筋力や瞬発力、ボールを投げるときの体の使い方は巧緻性が高まることを理解し、授業展開を行っていく。

2 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得のために（技能向上のための手立て）

- 基礎的・基本的な知識においては、掲示物や学習カードを使い、毎時間確認しながら確実に習得していく。
- スキルアップトレーニングでは、攻守の基礎的トレーニングを毎時間継続的に行い、基礎的・基本的な技能向上を目指す。特に、基本的なバット操作やボール操作は、生徒の模範演技や動画を見せることで生徒の意欲を喚起させる。

3 ICT活用

- 導入段階でソフトボールの上級者の走攻守の映像を視聴させることで、今後の授業の方向性や動作のイメージを膨らませることができる。
- お互いのプレイをICT機器で撮影し、良かったプレイや修正点を発見させ、伝え合うことで合理的な運動の取り組み方について全体で共有していく。

4 障がいのある生徒への配慮

- 守備や打撃面においてタイミングに合わせて動くことや複雑な動きをすることが難しい場合には、動きを理解したり、自ら積極的に動いたりすることができるよう、掲示物の工夫や視聴覚教材の工夫を行う。
- ボールやグローブ、バットの操作が難しい場合には恐怖心をなくすために柔らかいバットやボールを使用するなど生徒の実態に応じて段階を踏んだ指導を行う。

5 体力や技能の程度、性別や障がいの有無を超えて運動やスポーツを楽しむために、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるような学習活動・学習形態・練習の取り組み方、ルールやゲームの工夫、男女共習の工夫例など

ベースボール型の授業においては、経験者と経験が少ない生徒との技術の差が大きいため、経験者をグループのリーダーに置くことで、学び合い活動を主体的に進めることなどが考えられる。

時間	学 習 内 容 ・ 活 動
1	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none">○ベースボール型球技は身体やバットの操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻守を規則的に交代し、一定の回数内で相手チームより多くの得点を競い合うことが楽しい運動であること。（知） <p>1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none">(1) ソフトボールの技術の名称やルールについて理解する。 学習カードや視聴覚教材を活用し、ソフトボールの特性や技能のポイント・ルールの理解をする。(2) 授業のルールや学び方の確認をする。(3) 単元計画を理解する。(4) 学習カード記入の確認及び班の役割を分担する。

- 2 スキルチェックを行う。
 - (1) 2人組でキャッチボール
 - (2) グループを作りティーボールでバッティング

【学習内容】

○体調の変化などに気を配ること，ボールやバット，グローブなどの用具の扱い方や，練習場所などの自己や仲間の安全に留意すること，技能の難易度や自己の体力や技能の程度に合った運動をすることが大切であること。(学)

1 健康観察・本時のめあての確認・準備運動

2 スキルアップトレーニング

(1) キャッチボール→基本的なボール操作をする力を高める。

- 2
 - 2人組で全員が同じ方向で行う。
 - 横のペアとの間隔は3m以上あける。暴投を投げた場合は隣のペアに当たる危険性があるので，周りにすぐに声かけを行う。
 - 5mの距離から始め，少しずつ距離を伸ばす。

(2) ゴロ捕球，フライキャッチ→守備でアウトにする能力を高める。

○ゴロ捕球1人7球→2人組で緩い球を転がしゴロの基本姿勢の確認、送球まで行う。

ゴロの基本姿勢→1，2，3のかけ声をかけ声で捕球姿勢から送球まで行う。



1で右足



2で左足重心は両足



3で腰を落とし捕球



ゴロ捕球は試合で1番使うアウトにする技術だよ！簡単なゴロを確実にアウトにするようになれば試合がさらに楽しくなるよね！！

○フライキャッチ1人5球→正面のペアに小フライを投げる。



小フライを上げ



オーライの声を

「オーライ」の声をかけることで、周囲に自分が捕るというアピールになり、周りとの怪我防止にもつながるね！！



2

(3) スイング練習



肩越しの構え



タイミングをとる



フォロースルー

1, 2, 3で30スイング行う。

1で肩越しの構え, 2でテイクバックしてタイミングをとり, 3でフルスイングする。

3 簡易ゲーム① (ティーボールフリーバッティングゲーム)

○グラウンドを約60度にして, 1チーム人数を6人程度と少なくする。

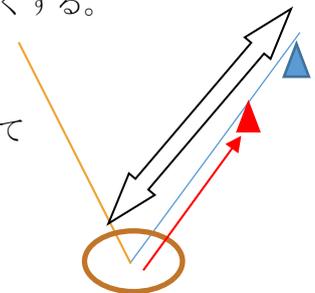
攻撃

○ティーボールからバッティングを行い, 一つ目のコーンを回って1点。二つめのコーンを回ってきたら2点入る。

守備

○守備中は打球を捕球したら, 走者がコーンから戻るまでに守備全員が集まり「アウト」とコールするとアウトとする。

○フライはキャッチし, 全員で「アウト」とコールしたらアウト。



【打者以外立ち入り禁止ライン例】



試合中は安全面にも十分に配慮しよう。打ったバットを後方に投げる生徒がいるのでキャッチャーは必ずマスクをつけよう。また, キャッチャーなしのゲームでは打者以外立ち入り禁止のラインなどを引こう。



【学習内容】

○ボールをよく見て地面と水平にバットを振り抜くこと。(技)

1 健康観察・本時のめあての確認・準備運動

2 スキルアップトレーニング

3 ティーボールでバッティング練習する。

7人程度のグループを作り、打つ、守る、ボールをティー台に乗せるなど役割を分担し、効率よく約10球程度バッティング練習を行う。

ティー台を使ってのバッティング練習では、自分で打ちやすい所にボールをセッティングしよう！！右打者なら左足の前くらいの方が打ちやすいよ。水平なスイングを意識して打球を遠くに飛ばそう！！



3

【いろいろなティー台】



グループを作り、静止しているボールを打とう！！

ボールが止まっているので自分の形でしっかりとボールを捉えることを意識しよう！

4 簡易ゲーム① (ティーボールフリーバッティングゲーム)

【学習内容】

○ボール操作には、ステップ、キャッチング、スローイングなど技術の名称があること。それらを身に付けるポイントがあること。(知)

○ボールの正面に回り込んで緩い打球を捕ること。(技)

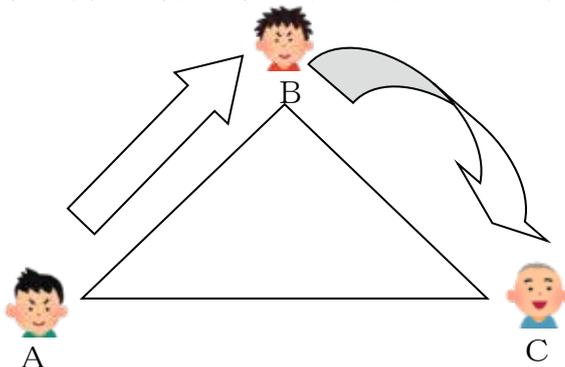
1 健康観察・本時の目当ての確認・準備運動

2 スキルアップトレーニング

3 ステップやキャッチング、スローイング技術の名称やポイントについて理解する。

4 緩い打球に反応してタイミングよく捕球する練習する。

(1) 三角ゴロ捕り (3人組で1人はゴロを転がし1人はゴロ捕球して送球まで行う。)



AはBにゴロを転がす。
Bはゴロを基本姿勢で捕球しCに送球する。送球は山なりの送球ではなく、低く速い送球を意識すること。

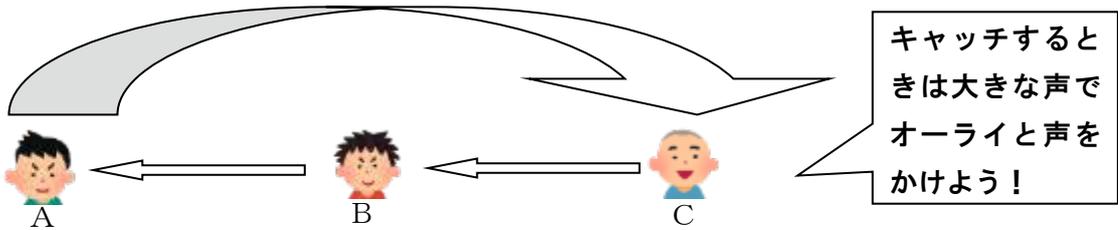
4

(2) 手ゴロノック



AはB, C, Dに手でゴロを投げる。Bは捕球したらAに送球する。正面のゴロは両手で捕球しAに送球しよう！！捕球から送球まで一連の動作を意識する。

- 5 フライをキャッチし、カットマンに中継して送球する練習をする。
・手投げフライカットプレイ



A君がC君に高めのフライボールを投げて、B君に中継してA君に戻す。

4



カットプレイでは、膝元の低いボールより肩より高いボールの方がカットして次の送球につなげやすいよね。捕ってから投げるまで一連の動作になるといいね。

6 簡易ゲーム②

(ティー台を使った三角ベースフリーバッティングゲーム)

- 3イニングを目標に何点はいるか競い合う。
- ヒットになってもランナーは残らない。

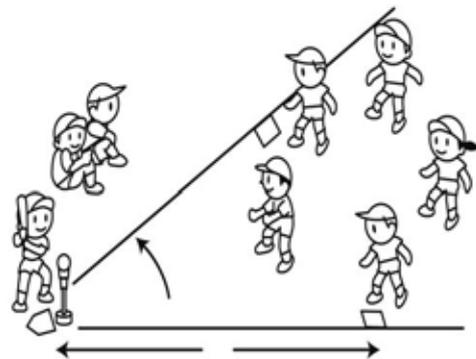


攻撃

- ヒットは1点, 2塁打は2点, ホームランは3点とする。
- ランナーは残らない。
- 全員が打ったら攻守を交代する。

守備

- 守備は常に「捕球したら送球する」ことを意識させる。
- ゴロは一塁に送球してアウト。



【学習内容】

- ボールの正面に回り込んで緩い打球を捕ること。(技)

5

- 1 健康観察・本時のめあての確認・準備運動
- 2 スキルアップトレーニング

3 タイミング良く捕球する練習をする。

(1) 手ゴロノック



正面からの手投げのゴロを正面で捕球し、一連の動作で返球する

(2) ノック練習



実際にバットを使い、ノックを行う。足を細かく動かし正面に入り、アウトにする練習を行う。送球は一塁と二塁に行く。

5

ボール操作では構え、ステップ、キャッチング、スローイングなどでゴロやフライを捕ったり、狙った方向にボールを投げたり、味方からの送球を受けたりすることができるようになる。

4 簡易ゲーム② (ティー台を使った三角ベースフリーバッティングゲーム)

【学習内容】

○スピードを落とさずに、タイミングを合わせて塁を駆け抜けること。(技)

- 1 健康観察・本時のめあての確認・準備運動
- 2 スキルアップトレーニング
- 3 一塁への駆け抜きの練習をする。

6



線上を真っ直ぐ走る



右端を踏み
ファールゾーンへ

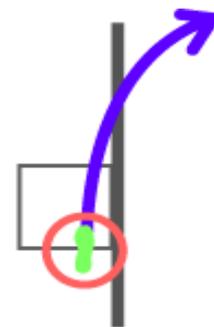


ダブルベースの駆け抜け

全力疾走でスピードを落とさず駆け抜けよう！！

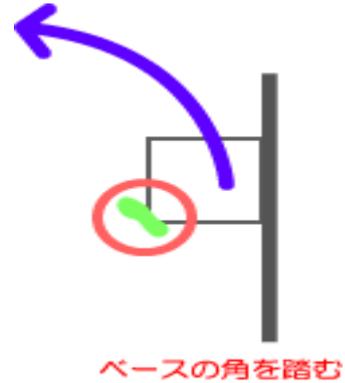


一塁への駆け抜きは、スピードを落とさずホームから一塁へつなぐ線上をまっすぐに走るといいね。ベースを踏むときは、必ずダブルベースの右端を踏み、走り終わったらファールゾーンへ駆け抜けよう。

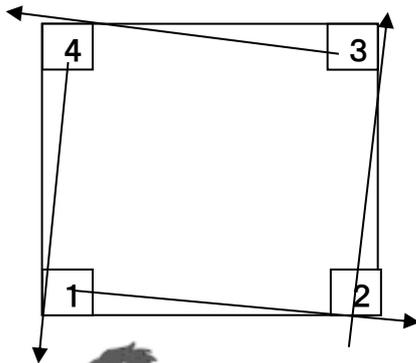


出来るだけベースの手前を踏む

4 ヒットからのオーバーランの練習（次の塁を狙う走塁）をする。



5 ベースランニングの練習をする。



【走塁のベースランニング練習例】

① 1, 2, 3, 4のベースに数人ずつ入り，駆け抜け，オーバーランの2つを行う。

② 1, 2, 3, 4つのベースに数人ずつ入りベースの踏み方を確認し，リレー形式でスピードを競わせる。

6



ベースランニングリレーでは大きく膨らみすぎたら，走る距離が長くなって，タイムが遅くなるので膨らみ方が大切だね！！

6 簡易ゲーム③（無死一塁からの簡易ゲーム）

- 通常通りの三塁までのベースを設定する。
- なるべく正規のゲームに近づけながら攻守の基本的なチームプレーを理解する。一塁までの駆け抜けも意識する。
- 全員が打ったら攻守を交代する。
- 守備側はスローイングしやすくするためにベース上に直径2 mのアウトゾーンの円を設定し，アウトをとりやすくする。



【送球が苦手な生徒に対してのルール工夫】

・円（アウトゾーン）ルール

守備は円（アウトゾーン）の中で送球をキャッチすればアウトとすることで，送球が苦手な生徒もアウトをとりやすくなります。

7

【学習内容】

- 練習の際に球出しなどの補助をしたりチームの作戦や戦術などの学習課題の解決に向けて仲間に助言したりすること。（学）
- 自分や仲間の体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえ，ルールを工夫して楽しむための練習やゲーム等の方法を見つけて他者に伝えること。（思）

1 健康観察・本時のめあての確認・準備運動

2 スキルアップトレーニング

- 3 トスバッティング2人組, 3人組をする。
バットコントロール, ミート力を身に付ける。



基本的なバット操作で投げ手にワンバウンドで優しく打ち返そう。3人組の時は2人の守備者に交互に打ち返せるようになるろう。

- 4 ロングティーバッティングをする。
スイングスピードと水平なスイングを身につける。

【練習の際の球出しのアドバイス例】

練習の際には、球出し、ボール拾いなどの補助も行おう。球出しでは打者の打ちやすい所に投げてやろう。投げるのを間違えると自分にボールが当たる可能性があるので気をつけよう。



ロングティーバッティングをすることで自分の打球飛距離が分かり、自分のスイングスピードとスイング軌道が分かるよ。ボールを遠くに飛ばす為には、速いスイングとバット軌道が大切だよ。

- 5 ミーティングタイム
7 ゲームの中でみんなが分かりやすく楽しむためのルール作りを話し合い発表する。

体力や技能の程度, 性別等の違いなどを踏まえてみんなが楽しめる視点を与えましょう。



- 6 簡易ゲーム④
無死一, 二塁ゲーム

※話し合いから次のような意見が出ると予想される。
○無死一, 二塁から行うことで多くの生徒が参加できる。
○投手は攻撃側から(3球以内に打つ, 打たなければバッターアウト, ファールは継続)
○捕手は座って捕球しない。(後ろでボール拾い, ホームの送球のキャッチ)
○ワイルド・ピッチ, パス・ボール, 盗塁はなし。
○フォースアウト(タッチでもよい)

↓ 簡易ゲーム ルール上の工夫

【無死一, 二塁ゲームのメリット】

- ※試合での運動量の確保, 試合の進行が遅い等の課題が解消される。
- 初めからランナーがいることで打者も入れて3人が走る。
 - 味方から投手を出すことで初球攻撃が多くなりスピーディーになる。
 - どこの塁でもアウトを捕ることができる。
 - 打てなくてもランナーができる。
 - ベンチで休んでいる人が少ない。(打者, 次打者, 投手, ランナー2人, ランナーコーチ2人の計7人)

	<p>【学習内容】</p> <p>○決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとること。(技)</p> <p>○最善を尽くすことやフェアプレイ等の価値について視点を与え、ゲームの中で仲間の良い態度やプレイを見つけ、理由を添えて他者に伝えること(思)</p> <p>1 健康観察・本時のめあての確認・準備運動</p> <p>2 スキルアップトレーニング</p> <p>3 ランナーをつけ、正面からのボールを打つ打撃練習と定位置からの守備練習をする。</p> <p>(1) 無死一塁</p> <p>(2) 一死一，二塁</p> <p>(3) 無死満塁</p> <p>○2チームに別れ攻防を行う。</p> <p>○攻撃と守備に経験者などのコーチをつけ、アドバイスをしながら進めていく。</p> <p>○守備のカバーリングなどの動きはICT機器を使い理解していく。</p> <p>○守備練習はカバーやバックアップ，ベースカバーの動きなど意識する。</p> <p>4 ミーティングタイム</p> <p>○打順の見直し</p> <p>○守備位置の見直し</p> <p>○声かけ，カバーリングの確認</p> <p>○走塁の見直し，全力疾走，次の塁を狙う意識</p> <p>5 簡易ゲーム④(無死一，二塁ゲーム，より正規の用具・ルールに近づけていく)</p> <p>○ゲーム中に仲間の良い態度やプレイを見つけ声かけができるように指導する。</p> <p>○ゲーム後は最善を尽くす，フェアプレイなどの良い取り組みを見つけ，理由を添えて他者に伝える時間を確保する。</p> <p>※定位置での準備姿勢を意識させてゲームに取り組ませる。</p>
8	<p>【学習内容】</p> <p>○提供された練習方法や資料から，自己やチームの課題に応じた練習方法を選択すること。(思)</p> <p>○単元全体を通して，目標の達成に向けて積極的に取り組むこと。(態)</p> <p>○ボール操作と基本的なバット操作で連携した動きを仲間と高めながらソフトボールを楽しむ。(第10時)</p> <p>1 健康観察・本時のめあての確認・準備運動</p> <p>2 スキルアップトレーニング</p>

10	3	提供された練習からチーム練習をする。 グループの課題に応じて練習方法を選択させる。 【学習した練習内容】 (1) 打撃 スイング練習 ティーボールでバッティング練習 トスバッティング ロングティーバッティング (2) 守備 ゴロ捕球 フライキャッチ 三角ゴロ捕り 手ゴロノック 手投げフライカットプレイ ノック練習 (3) 走塁 一塁駆け抜け ヒットからのオーバーランの練習 ベースランニング 【学習した以外の練習内容例】 ○フリーバッティング ○ケースバッティング ○守備位置についてのノック 等
	4	リーグ戦 生徒の上達のレベルに合わせて、三角ベースや通常ベース、塁間の距離、コート の角度、使用するボールを変えるなどの工夫を行う。

《参考資料》◎学習カード例

球技【ソフトボール】

年 組 番氏名

指導計画と評価計画												
時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
学 習 の 流 れ	0	健康観察・本時のめあての確認・準備運動。										
	10	オリエンテーション ソフトボールの歴史	スキルアップトレーニング キャッチボール・ゴロ捕球・スイング。									
20	基本的なバット操作		ボール操作	走塁練習	課題の確認と解決の練習	前時の修正・チーム練習	リーグ戦					
30	スキルチェック	簡易ゲーム①	簡易ゲーム②	簡易ゲーム③								
40		基本的なバット操作のゲーム。	ボール操作と基本的なバット操作のゲーム。	ルールの工夫を行い、基本的なバット操作とボール操作、走塁のあるゲーム。								
50	整理運動・学習のまとめ、振り返り・次時の確認。										単元のまとめ	
評 価 機 会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総括的な評価	
	知①		②	③		⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
【評価方法】知識（学習カード）技能（観察）思考・判断・表現（学習カード・観察）主体的に学習に取り組む態度（観察・学習カード）												
日付	学習課題		今日の成果と感想			日付	学習課題		今日の成果と感想			
①	知①ソフトボールの特性を理解しよう。					⑥	技②スピードのある走塁を目指そう。					
②	学③みんなで安全を理解しながら活動しよう。					⑦	思③ルールを工夫して楽しもう。					
③	技①水平なスイングを身に付けよう。					⑧	技④決められた守備位置を守ろう。					
④	知②技術の名称やポイントを理解しよう。					⑨	思①合理的な練習を選択しよう。					
⑤	技③ゆるい打球をアウトにしよう。					⑩	総括みんなでソフトボールを楽しもう。					